

2014年11月08日



【本件に関するお問い合わせ先】
公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
〒140-0001 東京都品川区北品川 1-16-1
舟正ビル 2F
TEL.03-3450-9360 FAX.03-3450-9361
E-mail: jafahq@americanfootball.jp
Web: <http://americanfootball.jp>

第4回アジアビーチゲームズに出場するビーチフラッグフットボール 日本代表チームがタイに向けて出発します

11月10日(月)第4回アジアビーチゲームズ、ビーチフラッグフットボール競技に参加する日本代表チームが開催地タイに向けて出発します。

「アジアビーチゲームズ」とはOCA(Olympic Council of Asia=アジアオリンピック評議会)が主催する競技会で、今大会ではビーチでのスポーツ26競技、169種目が正式競技として行われます。ビーチフラッグフットボールは今大会で初めて正式競技として採用されました。日本代表チームは、初代王座獲得を目指し全力を尽くして戦って参ります。

1. 第4回アジアビーチゲームズ概要

大会期間 2014年11月14日(金)~23日(日)
開催都市 タイ、(プーケット)
実施競技 26競技、169種目
大会公式サイト <http://www.phuketthailand2014.com/en/home.aspx>

2. ビーチフラッグフットボール競技概要

種目:男子チーム戦
出場選手数:1チーム4名+交代選手6名 *最大10名
試合日:2014年11月12日(水)、13日(木)、14日(金)
試合会場:SAPHAN HIN Sports Center
出場国:タイ(開催国)、中国、インド、日本、クウェート、フィリピン
試合形式:6カ国による総当たり戦の後、ランキング上位4カ国によるトーナメント戦。
順位確定:1位/金メダル:1カ国、2位/銀メダル:1カ国、3位/銅メダル:2カ国

※ルール:IFAFにおける5人対5人によるフラッグフットボールのルールをベースとして定められているが、主な相違点は、以下の通り。

- 1) 砂浜にて、素足で行う。
- 2) フィールド上は、4人対4人で行う。
- 3) フィールドサイズは、22m×38m。
- 4) 前後半に分かれ、13分のランニングタイム+2分の正式計時、にて行う。

3. 日本代表チーム概要

日本代表チームの詳細は日本代表公式サイトをご覧ください)

4. 関連ウェブサイト

大会公式サイト(英語) <http://www.phuketthailand2014.com/en/home.aspx>
日本代表公式サイト <http://www.americanfootball.jp/japan/>
日本協会公式サイト <http://www.americanfootball.jp/main/>

【別紙】

ビーチフラッグフットボールと国際アメリカンフットボール連盟の取り組みについて

IFAF(International Federation of American Football=国際アメリカンフットボール連盟)の種目には、アメリカンフットボール(タックルフットボール)、フラッグフットボール、ビーチフラッグフットボールの3つがあります。

フラッグフットボールはアメリカンフットボールの戦略性はそのままに、少人数かつ小スペースで、タックルの代わりに腰につけた「フラッグ」を取り合うスポーツです。最大の特徴が「作戦図をつくる」ということであり、これによって体力や投力の向上だけでなく、「学力」「コミュニケーション力」の向上にまで寄与するとの評価が高まり、文部科学省の学習指導要領(小学校・体育編)にも掲載され、現在日本全国4,000校を越える小学校で授業の事例が生まれています。

ビーチフラッグフットボールとはアメリカンフットボールを元に考案された「フラッグフットボール」を砂浜で行うという競技です。

IFAFの種目が、OCA主催の大会で採用されるのは今回のアジアビーチゲームズ2014が初めてのこととなります。

アジア地区では、日本と韓国においてアメリカンフットボールとフラッグフットボールが行われてきました。それ以外の国ではほとんど行われていませんでしたが、この10年ほどの間に、アジアの国々でもフラッグフットボールが行われるようになってきました。

タイとの交流が5年ほど前から始まり、2011年春、2013年春には、他のアジアの国々も加わっての、国際的な大会も行われるようになりました。2013年春にタイ・バンコクで行われたIFAF Asia Flag Football Club Championshipsには、日本、韓国、タイの他に、クウェート、シンガポールからもチームが派遣されました。

一方、IFAFでは、1998年の設立以来、IOC(International Olympic Committee=国際オリンピック委員会)に承認されるスポーツ組織になるための活動が積み重ねられてきました。加盟国を増やし、世界選手権を開催し、男女ともに楽しめるスポーツにする、等々の取り組みです。そして、昨2013年末にIOC理事会において、IFAFはIOCによる暫定承認を受けるに至りました。

この、IOCからの暫定承認、そして、アジア地区におけるフラッグフットボールの盛り上がりにより、このたびのアジアビーチゲームズにおける「ビーチフラッグフットボール」の採用が実現しました。今大会には、開催国・タイの他に、中国、インド、日本、クウェート、フィリピン、の6カ国が出場します。さらに出場国を増やせるように努め、また、女子種目に取り組む国を増やし、ゆくゆくはアジア大会にてフラッグフットボールが採用されるように、努力していく考えです。